



//// 第60回 高等学校卒業式 2017年2月4日(土)大講堂 ////

<聖体賛美式(ベネディクション)中の司教メッセージ>

カトリック京都司教 +パウロ大塚喜直

ルカによる福音書 (9章22～27節)

[そのとき、イエスは弟子たちを戒め、]次のように言われた。「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」それから、イエスは皆に言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを救うのである。人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の身を滅ぼしたり、失ったりしては、何の得があろうか。わたしとわたしの言葉を恥じる者は、人の子も、自分と父と聖なる天使たちとの栄光に輝いて来るときに、その者を恥じる。確かに言うておく。ここに一緒にいる人々の中には、神の国を見るまでは決して死なない者がいる。」

ヴィアートル学園洛星高等学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年、皆さんのための聖書のみことばは、来週、7日に、大阪で行われる高山右近の列福式を思って、選びました。

「自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを救うのである。人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の身を滅ぼしたり、失ったりしては、何の得があろうか。」高山右近も、このキリストのことばに従い、この世の栄華を捨てて、自分の本当のいのち、すなわち永遠のいのちを得るという幸福を選び取りました。

カトリック教会は、キリストの福音を信じ、その信仰が多くの信者の励みと模範になる人びとを聖人・福者と宣言します。たとえば、カルカッタのマザーテレサは、昨年、教皇フランシスコから聖人として、列聖されました。高山右近は、このたび福者として、列福されます。

右近は、戦国時代の有名なキリシタン大名として、信長の死後、豊臣秀吉に仕え、

多くの武勲を立てましたが、突如、秀吉から棄教を命じられ、これを固辞して、追放され、26年間金沢・能登で過ごしたのち、江戸幕府のキリスト教禁教令によってフィリピンに流され、そこで、亡くなりました。63才でした。

時は、物質的な豊かさや名誉、権力を求めて、人びとが必死に競った乱世。右近も望めば、それらを手にできる地位にありましたが、人間を真に幸福にするものは何かを問い続けました。そして、変わらぬ幸福を保証するものは、目に見える栄華ではない、目に見えない神の永遠の愛といのちであることを確信するに至ったのです。人生を左右する重大な岐路で選択を迫られるとき、右近は、大名の地位も、そして、最後はいのちまでも捨てて、真実の幸福を得、それをあかししました。

現代は、相対的価値観に支配され、信念を貫いて生きることが困難な時代です。そして、さまざまな生き方の選択肢はあるものの、現実には、才能や能力の有無という価値観で、負け組・勝ち組を振り分けようとする時代です。右近は、人間の救いはイエス・キリストの福音によると信じ、何が真の人間の価値であるか、何が人間を真に幸福にするかを見抜き、それに向かって主体的に自分の生き方を選び取り、どのような状況に置かれても、神と人への愛を選ぶの基準にする道を示しました。右近は、ぶれることなく、一つのことを選び続けたのです。右近が選び続けた道は、福音を聞いて神に従う生き方です。

この洛星で皆さんは、人間の価値は、才能や知識、能率・効率、業績によるのではなく、神から無条件に愛されていることによることを学んできました。だから、皆さんは、他人の痛みに関心し、競争ではなく、相互の助け合いの生き方に先に、真実の幸福が見えてくることに希望を見出すのです。

人生とは神の呼びかけに応じて生きることです。神から与えられた尊い命を、一度限りの人生を悔いのないものにするために、自分の意志で、神の前で愛の生き方を選び取ってください。現代は、氾濫する情報と多様な価値観に囲まれています。何も選ばずとせず、また何も捨てようとしなければ、決して自由な人間とはなれません。人生は選択の連続です。神から受けた愛の招きに対して、おしきせではなく自発的に応えるために、普遍的な価値観を土台にして、人生を選び取っていくことが大切です。

卒業生の皆さん、これから、責任をもって自分の自由を生きる時です。自分の目標をしっかりと掴んで、正しく真実なものを選び取ってください。その上で、自分の人生に自信と誇りをもって、希望と謙虚さのなかで歩いていってください。キリストはいつもそばにいて、助けて下さいます。

これからの人生において、神の恵みと力づけが豊かにありますように、私から祝福をおくります。

< 学校長式辞 >

洛星高等学校長 阿南 孝也

60期生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、洛星で過ごした6年間の学生生活を通じて、神からいただいた能力を磨き伸ばしてきました。今思い返してみましても、皆さんがいろいろなことに積極的に取り組み、仲間と共に活躍してきた姿が次々と目に浮かんできます。

洛星から新しい世界へ巣立ってゆく皆さんに、「流され妥協するのではなく、潮流に逆らう勇気を持ってください」という言葉を贈ります。皆さんが進む世界は、決して完成された、愛に満ちた世界ではありません。解決が困難な多くの課題を抱えた世界です。2000年のニューヨーク同時多発テロ以降、世界は憎しみと不信感に覆われ、報復の連鎖が続きました。世界各地で起きている紛争に対して、「止めようがない」「仕方がない」と、私たちがあきらめてしまったとすれば、暴力の連鎖を容認し、それに服従してしまうことになるのではないのでしょうか。インド独立の父と慕われ、非暴力・非服従を貫いた愛と平和の人マハトマ・ガンジーは、「あなたができることのほとんどは、無意味と思えることかもしれません。それでもしなければならぬのです。それは、世界を変えるためではなく、世界によって自分を変えられないようにするためなのです」という言葉を遺しています。

カトリック教会によって福者の列に加えられたユスト高山右近は、各々が己の利益のみを追求する殺伐とした戦国の世にあつて、憎しみに対して憎しみを返さず、暴力の連鎖に服従することなく、信仰を守り抜き、権力者や栄誉など、この世の何ものによつても「変えられることなく」、神の愛を証しする生涯を送った人でした。

哲学者の鷲田清一先生は、身の回りを4つの視点から見極める力として、「絶対失つてはいけないもの」「あればよいに違いないが、なくてよいもの」「端的になくていいもの」「絶対にあつてはならないもの」を見極める力が大切であると述べておられます。目先の利益、身の保全、長いものに巻かれろ、空気を読む、と称して、人生において最も大切なもの、決して失つてはならないものを手放すことがないように心掛けなければなりません。

卒業生の皆さん、流され妥協する生き方に甘んずることなく、真実を貫くために戦う人であってください。潮流に逆らう勇気を持って、「悪に負けてはいけません。かえつて、善をもって悪に打ち勝ちなさい(ローマの信徒への手紙12章21)」というパウロの言葉を生きる人となってください。

ヨーロッパでは、難民の受け入れや受け入れを巡る反発が生じて、国家間の対立や社会不安が増大しています。平和な世界実現のために、私たちはあきらめることな

く、この問題に真剣に向き合わなければなりません。平和の種は、一人ひとりの心の中に播かれ芽生えるものです。しかし、世界中から戦争やテロをなくし、平和な世界を築くためには、個人レベルでの心の持ちように目を向けるだけでは不十分です。テロや紛争の多くは、根底に富の不平等や資源エネルギーの奪い合いが存在し、貧富の差はさらに拡大しているからです。平和の実りを得るためには、実に様々な分野での、粘り強い取り組みが必要です。洛星を巣立っていく皆さん、世界の出来事に関心を持ち、人の痛みに気づく心を育み、弱い立場に立たされた人の隣人となってください。人類の家である地球の傷を癒し、この星に住む人すべてが、安心して平和に暮らすことのできる世界構築のために貢献する人となってください。

卒業式は別れの式です。しかし同時に、卒業生の皆さんを、洛星から世界中に派遣する日であると考えています。洛星の卒業生は文字通り世界中で働いています。同じここ洛星でキリストの教えを学んだ仲間です。あなた方を待っている人がたくさんいます。卒業生の皆さん、失敗を恐れず難題に立ち向かい、人々の幸せ実現のために必要とされている場で活躍してください。

○卒業式概要

卒業証書授与 卒業生一人ずつに、阿南校長から卒業証書授与

賞状授与

三ヵ年皆勤賞、三ヵ年精勤賞、一ヵ年皆勤賞
六ヵ年皆勤賞、六ヵ年精勤賞

在校生の言葉

卒業生の言葉

「仰げば尊し」合唱

卒業記念品贈呈

(大講堂 Horizont 幕一式・電子掲示板一基・鬱うこんざくら金桜)

学校からの記念品授与

教育協力会からの記念品授与 教育協力会長

高校3年生 卒業 215名

* 2月3日 中学生との離別式

60期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます

< 60期生 皆勤・精勤 >

【三か年皆勤賞】 25名
【三か年精勤賞】 8名
【六か年皆勤賞】 13名
【六か年精勤賞】 14名
【一か年皆勤賞】 44名

以上

2月中旬～3月行事予定(改訂版)

2月 8日(水) M2・1 狂言団体鑑賞(午後)
10日(金) HII・M 漢字検定(1・2限)
11日(土) 建国記念の日
15日(水) M1 歯科講座(7限)
17日(金) M3 サイバー犯罪被害防止講演(7限)
22日(水) HI・M3 落語団体鑑賞(M3 3・4限、HI 6・7限)
25日(土) HII・I 薬物乱用防止教室(4限)
図書館土曜講座(午後)
3月 9日(木) 特別編成授業(6限) 10日(金) 特別編成授業(40分×5限)
11日(土)～16日(木) 学年末考査
中学教科書渡し・高校教科書販売、身分証明書写真撮影
18日(土)、21日(火) 答案返却日(18日は午前中)
20日(月) 春分の日
23日(木) 高校終業式(平常登校)、中学終・卒業式(午後)
24日(金)～4月7日(金) 春期休暇
25日(土) 成績発送

Rakusei NEWSLETTER No.11 2017.2.6 発行
ヴィアートル学園 洛星中学高等学校
電話:075-466-0001 FAX:075-466-0777
<http://www.rakusei.ac.jp/>
